



平成23年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月1日

上場会社名 暁飯島工業株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 1997 URL <http://www.eazima.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 康輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 藤沼 一男 (TEL) 029(244)5111  
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年8月期第3四半期の業績(平成22年9月1日～平成23年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年8月期第3四半期	4,483	—	170	—	166	—	113	—
22年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年8月期第3四半期	10	43	—	—
22年8月期第3四半期	—	—	—	—

(注) 当社は前期においては連結で開示しているため、前第3四半期との比較は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年8月期第3四半期	5,759		2,047		35.5	187	53	
22年8月期	5,511		1,960		35.6	179	60	

(参考) 自己資本 23年8月期第3四半期 2,047百万円 22年8月期 1,960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年8月期	—	0.00	—	3.00	3.00	00
23年8月期	—	0.00	—			
23年8月期(予想)				3.00	3.00	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年8月期の業績予想(平成22年9月1日～平成23年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,800	4.8	230	△21.3	200	△23.5	100	△57.4	9	16

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年8月期第3Q	11,000,000株	22年8月期	11,000,000株
23年8月期第3Q	84,129株	22年8月期	83,534株
23年8月期第3Q	10,916,202株	22年8月期第3Q	10,916,933株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
【第3四半期累計期間】 .....	7
【第3四半期会計期間】 .....	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. 補足情報 .....	11
(1) 受注及び売上の状況 .....	11

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外市場の回復や景気対策などによる企業収益の改善など一部回復の兆しが見られていたものの、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災により、被災地域の経済活動のみならず、物流網や電力供給などの社会インフラにまで深刻な影響を受け、長引く円高基調や中東諸国の政情不安による原油価格の高騰懸念などもあり、先行きは依然不透明な状況で推移しております。

当社関連の建設業界におきましては、若干の復旧・復興需要は見込めるものの、公共投資は減少を続け、民間設備投資も先行きの不透明感から新規投資の意欲は低く、引き続き極めて厳しい受注環境となっております。

このような状況のもと、当社は引き続き工事利益率及び営業利益率の向上を目標に、受注時採算性の強化、原価管理及び施工管理の徹底、諸経費削減などの施策を実施してまいりました。

しかしながら、当第3四半期累計期間の業績は、受注高は41億17百万円となり、売上高も受注高の減少などから44億83百万円にとどまりました。

損益面におきましては、売上高の減少にもかかわらず、工事利益率が向上し営業利益は1億70百万円、経常利益も1億66百万円となりました。四半期純利益は災害による損失などの特別損失計上から1億13百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (設備事業)

設備事業の受注工事高は41億17百万円となり、完成工事高は44億50百万円、営業利益は3億10百万円となりました。

#### (その他事業)

その他事業の売上高は33百万円、営業利益は18百万円となりました。

なお、各セグメントに配分していないセグメント利益の調整額は、全社費用の1億58百万円であり、主に各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ2億47百万円増加し、57億59百万円となりました。その要因は、主に売上債権の増加によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ1億61百万円増加し、37億12百万円となりました。その要因は、主に仕入債務の増加によるものであります。

また、純資産は、前事業年度末に比べ86百万円増加し、20億47百万円となりました。その要因は、主に四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、2億38百万円減少し13億50百万円となりました。

当第3四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益を計上

し、仕入債務も増加したものの、売上債権が増加し、未成工事受入金も減少したことなどから2億19百万円の支出超過となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の償還などから37百万円の収入超過となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の減少などから57百万円の支出超過となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年10月15日付け「平成22年8月期決算短信」にて公表いたしました業績予想の数値に変更はありません。

前第3四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していましたが、前事業年度に連結子会社の解散決議をし、第1四半期会計期間において清算終了いたしております。よって当第3四半期累計期間は四半期財務諸表を作成しており、前第3四半期累計期間との比較は行っておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

《簡便な会計処理》

#### ①完成工事に係る瑕疵担保費用見積額の算定方法

当第3四半期会計期間末の補償実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の補償実績率を使用して瑕疵担保費用見積高を算定しております。

#### ②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

《特有の会計処理》

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計基準等の改正に伴う変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

#### 2. 会計基準等の改正に伴う変更以外の変更

該当事項はありません。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,364,953	1,603,550
受取手形・完成工事未収入金	1,297,284	780,029
有価証券	95,002	139,700
未成工事支出金	224,736	154,412
繰延税金資産	26,475	56,616
その他	102,457	78,254
貸倒引当金	△44,800	△32,500
流動資産合計	3,066,109	2,780,064
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,112,566	1,109,366
減価償却累計額	△835,357	△819,975
建物・構築物(純額)	277,208	289,390
土地	2,160,682	2,160,682
その他	18,461	12,835
減価償却累計額	△10,158	△8,712
その他(純額)	8,303	4,123
有形固定資産合計	2,446,194	2,454,195
無形固定資産	1,131	1,498
投資その他の資産		
投資有価証券	222,658	212,281
長期貸付金	500	500
その他	73,027	157,956
貸倒引当金	△50,591	△94,854
投資その他の資産合計	245,594	275,883
固定資産合計	2,692,919	2,731,577
資産合計	5,759,028	5,511,641

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	1,374,402	936,185
短期借入金	1,277,000	1,426,800
1年内返済予定の長期借入金	240,240	129,840
1年内償還予定の社債	30,000	45,000
未成工事受入金	218,644	420,315
完成工事補償引当金	8,170	9,000
工事損失引当金	9,980	—
賞与引当金	33,110	65,400
災害損失引当金	19,920	—
その他	83,138	106,715
流動負債合計	3,294,605	3,139,255
固定負債		
社債	90,000	105,000
長期借入金	277,430	252,010
退職給付引当金	31,541	31,076
その他	18,446	23,658
固定負債合計	417,418	411,744
負債合計	3,712,023	3,551,000
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,408,600	1,408,600
資本剰余金	3,705	3,705
利益剰余金	721,081	639,957
自己株式	△21,379	△21,320
株主資本合計	2,112,007	2,030,941
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△65,002	△70,300
評価・換算差額等合計	△65,002	△70,300
純資産合計	2,047,005	1,960,640
負債純資産合計	5,759,028	5,511,641

## (2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)
売上高	
完成工事高	4,450,339
その他の事業売上高	33,039
売上高合計	4,483,379
売上原価	
完成工事原価	3,991,028
その他の事業売上原価	14,388
売上原価合計	4,005,417
売上総利益	477,962
販売費及び一般管理費	
従業員給料及び手当	113,803
賞与引当金繰入額	9,899
退職給付費用	10,348
貸倒引当金繰入額	12,300
その他	161,263
販売費及び一般管理費合計	307,615
営業利益	170,347
営業外収益	
受取利息	1,492
受取配当金	1,860
有価証券償還益	11,451
仕入割引	6,798
受取地代家賃	6,608
その他	6,816
営業外収益合計	35,027
営業外費用	
支払利息	33,034
有価証券評価損	4,781
その他	818
営業外費用合計	38,633
経常利益	166,740
特別利益	
関係会社事業損失引当金戻入額	2,349
退職給付引当金戻入額	11
貸倒引当金戻入額	10,003
特別利益合計	12,363
特別損失	
災害による損失	24,102
貸倒引当金繰入額	10,570
特別損失合計	34,672
税引前四半期純利益	144,432
法人税、住民税及び事業税	1,019
法人税等調整額	29,537
法人税等合計	30,557
四半期純利益	113,874

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
売上高	
完成工事高	1,501,353
その他の事業売上高	11,464
売上高合計	1,512,817
売上原価	
完成工事原価	1,350,285
その他の事業売上原価	3,974
売上原価合計	1,354,259
売上総利益	158,557
販売費及び一般管理費	
従業員給料及び手当	47,894
退職給付費用	3,396
貸倒引当金繰入額	650
その他	45,940
販売費及び一般管理費合計	97,881
営業利益	60,676
営業外収益	
受取利息	34
受取配当金	136
仕入割引	2,435
受取地代家賃	2,186
その他	2,629
営業外収益合計	7,422
営業外費用	
支払利息	10,646
有価証券評価損	4,781
その他	231
営業外費用合計	15,659
経常利益	52,440
特別損失	
災害による損失	24,102
特別損失合計	24,102
税引前四半期純利益	28,337
法人税、住民税及び事業税	268
法人税等調整額	7,540
法人税等合計	7,808
四半期純利益	20,528

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	144,432
減価償却費	17,194
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15,108
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△830
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	9,980
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,290
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,000
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	19,920
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	465
関係会社事業損失引当金の増減額 (△は減少)	△7,000
受取利息及び受取配当金	△3,352
支払利息	33,034
有価証券償還損益 (△は益)	△11,451
有価証券評価損益 (△は益)	4,781
売上債権の増減額 (△は増加)	△487,245
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△70,323
仕入債務の増減額 (△は減少)	438,217
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△201,671
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△21,457
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△35,161
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	7,810
その他	34,406
小計	△153,433
利息及び配当金の受取額	3,349
利息の支払額	△33,486
法人税等の支払額	△35,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	△219,307
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有価証券の取得による支出	△98,292
有価証券の償還による収入	150,000
有形固定資産の取得による支出	△8,825
投資有価証券の取得による支出	△4,814
その他	△94
投資活動によるキャッシュ・フロー	37,973
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△149,800
長期借入れによる収入	250,000
長期借入金の返済による支出	△114,180
社債の償還による支出	△30,000
自己株式の取得による支出	△58
配当金の支払額	△13,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,262
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△238,597
現金及び現金同等物の期首残高	1,589,550
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,350,953

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 受注及び売上の状況

第1四半期決算より非連結決算となったため、前期実績については連結実績に替えて当社単体の実績を記載しております。

## ①受注実績(累計)

区分	前第3四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (平成22年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	2,602,642	58.5	1,970,625	47.8	△632,017	△24.3	3,565,741	58.7
リニューアル工事	1,503,015	33.8	1,893,675	46.0	390,659	26.0	2,058,705	34.0
土木工事	34,200	0.8	△860	△0.0	△35,060	△102.5	34,200	0.6
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	306,910	6.9	254,451	6.2	△52,459	△17.1	406,566	6.7
設備事業計	4,446,768	100.0	4,117,891	100.0	△328,876	△7.4	6,065,213	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②売上実績(累計)

区分	前第3四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (平成22年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	3,039,047	59.7	2,554,596	57.0	△484,451	△15.9	3,836,643	59.1
リニューアル工事	1,712,108	33.7	1,567,687	35.0	△144,420	△8.4	2,204,129	34.0
土木工事	—	—	38,232	0.8	38,232	—	—	—
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	304,145	6.0	289,823	6.5	△14,321	△4.7	407,203	6.3
設備事業計	5,055,300	99.4	4,450,339	99.3	△604,961	△12.0	6,447,977	99.4
その他事業								
不動産事業	31,951	0.6	33,039	0.7	1,088	3.4	42,121	0.6
その他事業合計	31,951	0.6	33,039	0.7	1,088	3.4	42,121	0.6
合計	5,087,252	100.0	4,483,379	100.0	△603,873	△11.9	6,490,098	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。